

労働人口減少、AI・DXの進展等による産業構造転換に対応するには、新たな価値創造や、AI・DX等を駆使した生産性向上を実現する**産業イノベーション人材の育成**が急務

- ✓ 2040年の大学生・高校生数は**25%減** 高校3年生は65万人(2024年:95万人)、大学入学者は46万人(2024年:63万人)
- ✓ 高校生の約7割が普通科でその約7割が文系(**全高校生の約半数が普通科文系**)。工業、農業等の**専門学科の生徒はわずか2割程度**、**大学生は約半分が人文・社会科学系**
- ✓ 事務、販売、サービスなど**ホワイトカラーは、2040年に320万人余剰**となる一方で、**数理・デジタル分野の専門人材(同330万人)**が不足
- ✓ 地域社会や経済を支える**エッセンシャルワーカー等(同450万人不足)**が圧倒的に不足

- 産業界の参画を得て、**高校・大学・大学院等を一気通貫で改革**し、産業イノベーション人材の戦略的な育成を推進
- 教育・研究への投資効果が社会や産業に還元される、「**人への投資の好循環**」の実現を目指す

未来成長分野

(AI、量子、DX/GX、半導体、バイオ、マテリアル、ロボット、コンテンツ産業等)



地域産業や社会・生活基盤を支える分野

- ▶ 次世代型AI開発などのイノベーションの「最初の芽」を創出し、**先進的な新たな知を生み出せる力**
- ▶ 様々な実務分野でAI・DX等を駆使し、**ビジネスモデルの実装・改善や、生産性向上を図れる力**
- ▶ 多様な個性や好奇心を基盤とする**探究心**



■社会変革を見据えた徹底した高校教育改革

- 文理分断からの脱却と理数系進学者の拡大を図り、探究的な学びを重視する**普通科高校改革**
- 地域産業界のニーズに応じて、デジタル技術等を活用するエッセンシャルワーカーを育てる**専門高校改革**

■大学教育の構造改革

- 若者(特に女性)が自らの関心に応じてサイエンスを中心とした**未来成長分野**に挑戦し、世界をリードする力を育む大学へと構造的に転換
- 地域産業や社会・生活基盤を支える人材を育成する**地域の大学等の抜本的な機能強化**と**公立高専の設置促進**
- 産業界のニーズに合致した、大学等におけるリ・スキリングの充実

■産業イノベーション人材の育成を強化する仕組みの創設

- 未来成長分野や地域の視点からの人材や、世界を舞台に活躍する人材の育成
- 「新技術立国」を目指し、未来成長分野のイノベーションを担う**科学技術人材の育成**とそれを支える**環境整備**
- 地域産業や社会・生活基盤を支える**戦略本部**としての**国立大学等の強化**
- 勝ち筋となる我が国のソフトパワーの源泉である**文化芸術・スポーツ分野への成長投資**

2040年問題－職業間・学歴間のミスマッチ

団塊ジュニア世代が高齢者となる**2040年**には、

①少子高齢化、②地方の過疎化が一層深刻化、③生産年齢人口の減少による働き手不足（特にAI/ロボット等の理系人材の不足）により、我が国の社会経済構造は新たな局面に。こうした局面を打破するため、**人材育成の強化**により、**社会・経済の持続的な成長を実現**する必要。

	管理的 職業	専門的技術的職業		事務	販売	サービス	生産工程	輸送・機械 運転	運搬・清掃・ 包装等	
		うちAI・ロボット等 の活用を担う人材								
全産業	2040年の労働需要 (2040年の労働供給 ※現在のトレンドを延長した場合)	124万人 (175万人)	1387万人 (1338万人)	498万人 (172万人)	1166万人 (1380万人)	735万人 (786万人)	714万人 (724万人)	865万人 (583万人)	193万人 (169万人)	415万人 (269万人)
	供給とのミスマッチ	51万人	-49万人	-326万人	214万人	51万人	10万人	-281万人	-24万人	-146万人
	*2021年現在の就業者	143万人	1281万人	196万人	1420万人	834万人	880万人	885万人	244万人	516万人
全職業		高卒	短大・高専等	大学理系	院卒理系	大学文系	院卒文系			
		2112万人 (2075万人)	1212万人 (1160万人)	685万人 (625万人)	227万人 (181万人)	1545万人 (1573万人)	83万人 (90万人)			
	2040年の労働需要 (2040年の労働供給 ※現在のトレンドを延長した場合)	-37万人	-52万人	-60万人	-47万人	28万人	7万人			
	供給とのミスマッチ	2735万人	1240万人	563万人	154万人	1332万人	70万人			
	*2021年現在の就業者数									

※「2040年の産業構造・就業構造推計について」(2025年5月 経済財政諮問会議武藤経済産業大臣提出資料)より引用

現在も子供・若者のデマンドに対応できていない高校・大学の教育システム

理系学部定員の少なさとジェンダーギャップ

- 義務教育終了段階では、比較的高い理数リテラシーを持つ子供は約4割いるにもかかわらず、**高校段階では普通科理系が2割、大学入学時には理工農系学部の学生は約1割に半減し、修士・博士と先細っている状況。**
- 特に**女子の理系離れは深刻**であり、**学士の理工農系進学は女子全体のうち5%にすぎず**、大きなアンバランスが生じている。

